

講演部門 報告

報告：沼田 栗実

担当者 エイズ出前授業：沼田 HIVのリアルを伝える：秋山

●概要：学生、専門職（病院・企業・行政・介護施設・社会福祉施設・就労移行支援施設などを含む）、保護者向け講演をおこなう。

●目的：HIV/エイズに関する知識の普及により、HIV陽性者への理解促進、予防意識の向上を目指す。年齢に合わせた性の健康教育を実施し、心身の大切さ、守り方を伝える。HIVに感染する仕組み、HIV陽性者の通院・治療・医療費、最新のHIV治療の常識やHIV陽性者の抱えている問題などについて、生の声を伝える。

●経過：

- ① 2022年度も引き続き、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の流行により、どこも外部講師を呼ぶことや出向くことが難しい年であったが、網走保健所からのご紹介で知床ウトロ学校から、また江別保健所より江別第二中学校への依頼があり、エイズ出前授業を行った。
- ② 上記講演に向けて、講演スタッフで複数回集まり、講演内容について話し合う機会を持たた。
- ③ 「HIVのリアルを伝える」では、例年、依頼いただいている仙台のコミュニティセンターZELから依頼があり、「HIV陽性者と語ろう」に参加できた。

●結果・効果：

- ① 2022年度も引き続き、COVID-19感染症の影響も受けながらも、2件の講演の依頼があり、実施することができた。
- ② 知床ウトロ学校では、7年生～9年生を対象の生徒向け授業と教職員向けの授業の2つの依頼があり、それぞれの依頼内容に合わせて実施した。遠方であることや予算の都合なども考慮し、初めてオンラインでの講演を実施した。事前にコンドームの正しい着け方の実践セットを送付し、画面越しではあったが、参加型の講演を実施できた。
- ③ 江別第二中学校では、中学三年生を対象に保健授業「性感染症の予防」「エイズの予防」という内容で講演を実施した。座学を修了したスタッフが、アシスタントとして講演プログラムの一部のセクションを担当することができた。
- ④ COVID-19感染症の影響を受けた2年だったが、その中でも、保健所からの紹介で繋がったり、保健所から直接依頼があったり、北海道内の関係部署と繋がり、講演ができた。
- ⑤ スタッフの繋がりもあり、道外のコミュニティセンターからお声かけがあり、2022年度も参加し、HIV陽性者のリアルを伝えられる機会を持たた。

●課題：

- ① 講演依頼がない年が続いていたため、スタッフのスキル維持を懸念していた。アシスタントを含め、講演経験を重ねるのが難しい環境でもあるため、今後もさまざまなテーマ、さまざまな講師で、スタッフのスキルアップにつながるミニ内部勉強会を引き続き開催していきたい。
- ② 実際の講演の質を保つためにも、講演の前に必ず練習の位置づけで、会の中で披露する時間を持つように徹底できるスケジュールで調整していく必要がある。
- ③ 初の試みとしてオンラインを利用した講演ができた。リアクションが見えにくかったり、ワークの限界があることなど課題はあるが、道内の遠方からの講演依頼や予算のことも鑑み、今後も都度、検討しながら取り入れていきたい。
- ④ スタッフ間でコミュニケーションを綿密に取れるよう、2023年度も年に1～3回くらいの頻度で、Zoomやスカイプ等を利用しながら、話し合いの場を設け、情報共有をして行く。
- ⑤ 平日に活動できる講演スタッフの獲得と継続的なスタッフ育成を引き続き行っていく。

- ⑥ 引き続き、講演先の依頼条件の検討（随時）と講演部門のHPの内容改訂を検討する。また、現在、HPから簡単にアクセスする方法がないため、外部から講演活動に対して、Google フォームなどを使用しながら、アクセスしやすい環境を作っていく、積極的に広報を考えて行く。

※2022年度の講演部門実績

● エイズ出前授業

実施日	主催	講演内容等	講師
2022年10月1日	コミュニティセンターZEL (宮城県仙台市)	※Zoomを利用したカワイ HIV 陽性者と語ろう	秋山 満
2022年11月16日	斜里町立知床ウトロ学校 7年生～9年生 対象 教職員 対象	※Google Meet を利用したカワイ エイズ予防&性的マイノリティ 性教育と性的マイノリティ	沼田 栗実 生田 多賀子
2022年12月1日	江別市立江別第二中学校 中学3年生 対象	「性感染症の予防」「エイズ の予防」	沼田 栗実 秋山 満(アソウト)